

# 第4学年〇組 学級活動指導案

平成29年〇月〇日 (〇) 第〇校時  
指導者 教諭 榎本 敦子

## 1 議題 「〇組のよさを伝える学級紹介ポスターをつくろう」

### 2 児童の実態と議題選定の理由

本学級の児童は「どうぞよろしくの会をしよう」「社会科見学バスレクを考えよう」「〇〇先生ありがとうの会をしよう」等の議題で話し合いを進め実践してきた。自分たちで計画し、実施することで協力して活動する楽しさを実感し、お互いに高め合い学級をよくしていこうという気持ちが芽生えてきた。

話し合い活動では、提案理由に沿って考え、積極的に発言する児童が増えてきている。しかし、考えはもっていても発表するのが恥ずかしいという児童がいたり、協力して合意形成を目指そうという気持ちが少なかったりする児童もいる。

本校では学級紹介ポスターを全学級が作ることになっている。学級で様々な経験をし、子どもたち自身が自分の学級に誇りをもち、自己肯定感を養うことをねらいとしている。

### 3 評価規準

他者への関心・集団活動への意欲、実践的な態度【関心・意欲・態度】	よりよい生活や人間関係を築く力【思考・判断・実践】	集団活動や生活についての知識・理解【知識・理解】
学級の生活上の問題に関心をもち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合っ て実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。

### 4 事前の活動

月日	活動の場	活動の主体	活動内容	指導上の留意点
〇月〇日 (〇)	朝の会	全員	・担任と一緒に議題を決定する。	・決まっていることを共通理解できるようにする。
	帰りの会	全員	・話し合いの柱について確認する。	・自分の意見をもてるように助言する。
〇月〇日 (〇)	朝の会	全員	・学級会ノートに自分の意見を書く。	・提案理由に沿った意見が書けるように助言する。
	昼休み	計画委員 提案者	・事前の意見を整理し、掲示する。	・分かりやすいように分類し、掲示する。
〇月〇日 (〇)	昼休み	計画委員	・役割分担をする。 ・話し合うことを確認し、準備する。	・役割や話し合うことを確認させ、自信をもって仕事ができるようにする。
〇月〇日 (〇)	昼休み	全員	・学級会ノートを受け取る。	・学級会ノートに励ましの言葉を記入し、意欲を高める。

5 本時のねらい

- 学級をより楽しく豊かにするために、みんなに楽しんで読んでもらう学級紹介ポスターを作ることができる。

6 展開

## 第 11 回 ニユニコ SMILE 会議

議題	組のよさを伝える学級紹介ポスターを			
理由	組はガッツリ大会やハロウィンパーティーなどいろいろな集会をみんなで作り上げてきて、クラスのきずなが深まってきています。そんな組のよさがみんな大好きです。そこで、組のよさを学校みんなに伝える学級紹介ポスターを作り、他の学年の人とも交流するきっかけにしたいです。	提案者	さん	
決まっていること	①紹介する点を4つ。②クラスの良いところを紹介する。③クラスの写真とのせる(1枚)④四つ切画用紙1枚分を書く。⑤出来上がったら階段のおとし場に一度はり昇降口に移動			
役割	司会	さん	黑板記録	さん
	司会	さん	黑板記録	さん
			ノート記録	さん

提案理由にもりこむこと

- ①今のクラスの様子
- ②だから、こんな活動をしたい。
- ③そうすれば、きっとこんなクラスになると思う。

児童はこの情報などをよりどころにして意見を比べ合う。

話合いの順序	時間	自分の考え・計画委員が気をつけること
1 はじめのことば		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声ではっきり言う</li> <li>・自分のめめと役割を堂々と言う。</li> <li>・決まっていることをわかりやすく説明する。</li> </ul>
2 計画委員の紹介		
3 議題の確認		
4 提案理由の説明		
5 決まっていることの確認		
6 話合い		<p>自分の考え・計画委員が気をつけること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロアーと計画委員が書くノートが同じものですむよう工夫している。</li> </ul>
話合うこと① 何とのせるか。	10分	
話合うこと② みんなに見てもらう工夫	15分	
話合うこと③ どんな係が必要か		<ul style="list-style-type: none"> <li>・うまく意見が言えない人がいたら、たしかにかわって言うようにする。</li> <li>・仲間わけしおから短くもはる。</li> <li>・話合いに困った時は、意見を整理する。</li> </ul>
7 決まったことの発表	10分	
8 ふりかえり		<p>終末の教師の助言</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①称賛(計画委員へのねぎらい)</li> <li>②今後の見通し</li> <li>③意欲化</li> </ol>
9 先生の話		
10 おわりの言葉		

自分もよく みんなもよく

決まったこと	
振り返り	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 友達の意見をよく聞くことができた。( )</li> <li>2 進んで発表できた。( )</li> <li>3 前の自分よりがんばった。( )</li> <li>4 学級紹介ポスターを作るのが楽しかった。( )</li> </ol>

・評価の欄の空欄は議題によって変わる。

・実践に向けて、やる気を喚起する評価項目を設ける。

7 指導上の留意点（学級経営指導上の視点）

話し合いの順序	・指導上の留意点      ◎目指す児童の姿
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の説明 5 決まっていることの確認 6 話し合うこと ①何をのせるか。 ②みんなに見てもらおうための工夫 ③どんな係が必要か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい雰囲気話し合うために、元気よく始められるよう助言する。</li> <li>・提案者の思いや願いが、学級全員の思いとなるよう助言する。</li> <li>・提案理由を共通理解できるように、司会者がはっきり発表できるようにする。</li> <li>・司会が困っているとき、話の方向がそれたり、よりよい話し合いの方法を学ばせたりしたいときは、積極的に助言し、話し合いの進め方や司会の進め方を共通理解できるよう助言する。</li> <li>・自分なりに理由をつけて発言できるように助言する。</li> <li>・発言者が偏らないよう、できるだけ多くの児童が発言できるように司会者に助言する。</li> <li>・なかなか発言できない児童や、進んで参加できない児童には、個別に支援をする。</li> <li>・提案理由を意識した意見や、理由が明確な意見、建設的な意見を称賛する。</li> <li>・安易に多数決を採らず、一人一人の思いや願いを生かして決められるよう助言する。</li> <li>◎意欲的に自分の意見を発言しようとしている。（関心・意欲・態度）【発言・観察】</li> <li>◎提案理由をもとに自分の意見を考え発言している。（思考・判断・実践）【ノート・発言・観察】</li> </ul>
7 決まったことの発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが決まったことを再確認できるよう、大きな声で発表できるようにする。</li> </ul>
8 学級会ノートへの記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価をしっかりとるように、よかったところを個人的に声かけする。</li> </ul>
9 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互評価の際は発言回数だけでなく、発言内容（建設的な意見や提案理由を意識した意見など）でみるよう助言する。</li> </ul>
10 おわりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案理由を意識した発言等を称賛するとともに、前よりよくなったことを伝える。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画委員の活動を称賛するとともに、次回の学級会の課題と今後の活動に向けての見通しを確認する。</li> </ul>

## 8 事後の活動

月日	児童の活動	・指導上の留意点
○月○日(○)～ ○月○日(○)	・決まった内容について、係ごとに準備をする。	・全員で役割分担し責任をもって、一人一人が活躍できるようにする。 ・進行状況についてその都度確認する。
○月○日(○)	・ポスターを完成させる。	・各係で協力し、学級紹介ポスターを掲示する。
○月○日(○)	・昼の放送で全校に告知する。	・昼の放送で全校に知らせ、ホッコリーフを書いてもらえるようにする。 ・感想に励ましの言葉を記入し、次につなげる。

### <参考資料>

#### ○学級活動(1)の展開

- ・子どもたちがよりよい学級生活をつくるために、みんなで「議題」を決め、話し合う。最終的にみんなで協力し合って実行する集団決定がなされるよう指導し、実践的活動まで見届けることが大切。そして『みんなもよく、自分もよい』という意識をもたせる。
- ・話し合いは3段階討議法を採用している。

### <3段階討議法>

#### 話し合いの柱

1 何をするか

2 どう工夫するか

3 どんな係が必要か

#### 話し合いの展開

①出し合う

②比べ合う

③まとめる

①出し合う

②比べ合う

③まとめる

①出し合う

②比べ合う

③まとめる

- ・柱1 「何をするか」については、①出し合う段階は終わりにしておき、②比べ合うから授業を展開するなど、工夫しながら効率的に話し合いを進める。
- ・係を決定するところまで1時間で進めるようにし、学級活動が終わったらすぐに協力し合って準備ができるようにする。

# 学級活動の授業隊形

## 黒板

- 決まっていること
- カレンダー（予定表）
- プログラム

教師

司会

司会

黒板記録

ノート記録

黒板記録

### ○教師の位置

学年や発達の段階によって変えている。今回は中学年のため司会に任せるつもりが進めたが、なるべく出番が多くなりすぎないように計画委員の後ろに座って、話し合いが混乱した時に声を行った。

### ○司会は2名

司会プレートを机の上に置く。  
座席は黒板・全員・計画委員も見える位置になっている。

### ○黒板記録は2名

黒板記録名札を着ける。  
座席は黒板・全員・計画委員も見える位置になっている。

#### ○準備しておくもの

- ・ホワイトボードマーカー
- ・賛成（赤） 反対（青）マグネット
- ・白短冊

### ○ノート記録は1名

話し合いの流れを聞き、黒板を見ながら、ノートにまとめる。  
最後に話し合いで決まったことを発表する。

### ○フロアー（計画委員以外全員）

黒板を見たり、計画委員を見たりして話し合いの流れをつかみやすくなるようにしている。  
計画委員が困っているときには、助けてあげられるように意識をもたせている。

